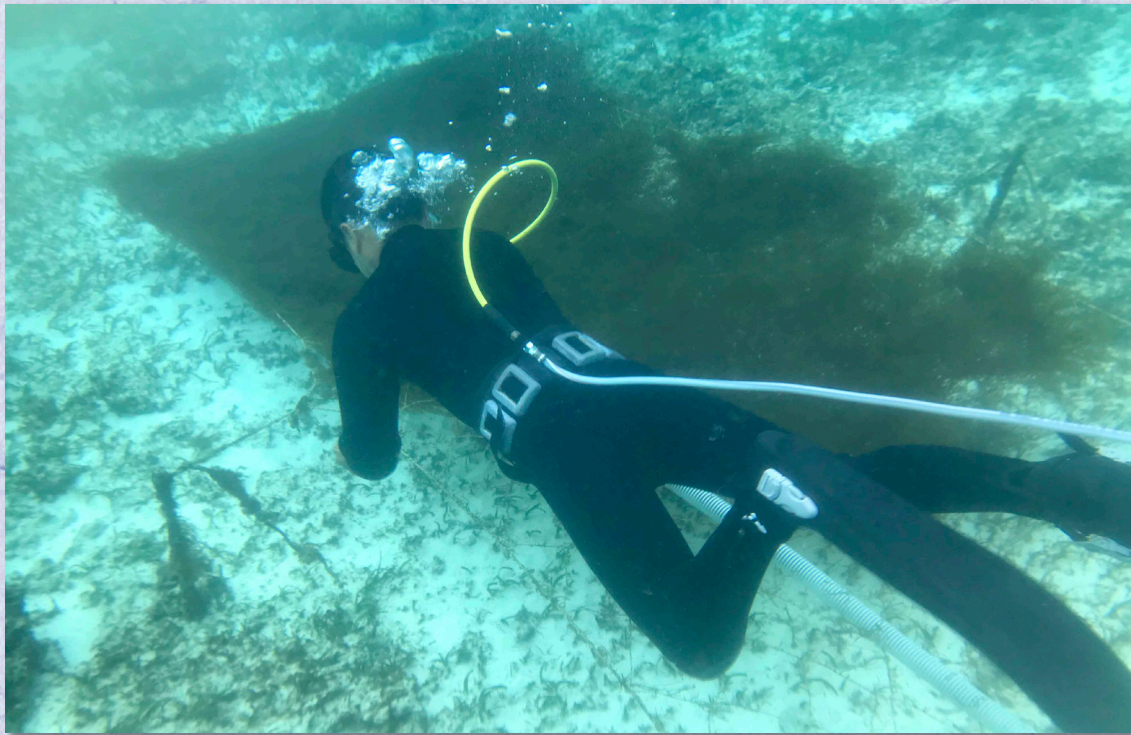


伊是名村 伊是名漁業協同組合

生産
部門

地域の特性を活かしたモズク生産でふるさとづくり (令和3年度認定)



伊是名の漁業は、これまで追込み漁が中心であったが、昭和60年以降、新規漁業として取り組んだモズク養殖が軌道にのり、現在のモズク生産額は、伊是名村における漁業生産額の8割を占め、平成30年1月17日に沖縄県より「モズク拠点産地認定」を受けている。

収穫初期のモズクは、“ヌメリ”や“喉ごしの良さ”があることから、本張り後、40日以内に収穫したモズクを「早摘みモズク」と定義づけ、県内外の大手量販店で早摘みモズクの実演販売を行い、モズクの消費拡大を図ってきた。また、モズク特産品の開発を通して6次産業化による地域活性化にも貢献している。

伊是名漁業協同組合と地域住民が連携し、海岸清掃も実施している。また、島の子ども達にシャコ貝の稚貝のサンゴ植え付け体験や伝統漁体験を実施している。

このことから、生産基盤からの生産活動により地域活性化に寄与していると認められる団体として生産部門に認定された。



モズク収穫



早摘みモズク実演販売



モズクの製缶作業



公共・公的団体へのモズク寄贈



海岸清掃活動



伊是名産モズク特産品